◎ブスコパン錠　［内］，◎ブチルスコポラミン臭化物注 20mg シリンジ　［注］

【重要度】　【一般製剤名】ブチルスコポラミン臭化物　scopolamine butylbromide　【分類】鎮痙剤
【単位】◎10mg/錠，◎20mg/シリンジ［1mL］<NP>
【常用量】■内服：30～60mg/日■注射：1 回 10～20mg/回
【用法】■内服：分 3■注射：静注，筋注，皮下注
【透析患者への投与方法】減量の必要なし（5）
【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし（5）
【特徴】副交感神経遮断作用により、消化管運動抑制、胃液分泌抑制、胆嚢収縮抑制などの作用があるが、唾液分泌、心臓拍出、散瞳、発汗抑制などの作用は極めて少ない．めまいに伴う悪心，嘔吐に効果があることがある．
【主な副作用･毒性】ショック，アナフィラキシー，血圧低下，口渇，便秘，排尿障害，視覚障害，皮膚障害など
【F】1%未満（1）2～8%（11）
【tmax】1.5hr（0.5mg/kg 投与時）
【代謝】代謝物の活性は低い（1）
【排泄】尿中回収率 2%糞便中回収率 90%［po］（11）尿中回収率 42%，糞便中回収率 37%［iv］（11）腸肝循環するのはわずか（11）
【CL】1.2L/min で腎クリアランスはその 50%（1）
【t1/2】14hr（10）8hr（11）
【蛋白結合率】11%［Alb］（10）10%（11）
【Vd】1.7L/kg（1）128L/man［iv］（1）
【MW】440.37
【透析性】不明（1）ある程度透析されると思われるが効率的ではない（5）
【TDM のポイント】TDM の対象にならない【O/W 係数】低い（11）
【相互作用】抗コリン作用を有する薬剤（1）消化管運動亢進剤と薬理学的拮抗（1）
【禁忌】出血性大腸炎、麻痺性イレウスには禁忌．細菌性下痢患者には原則禁忌．
【更新日】20240424

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。